

DOKKYO
UNIVERSITY
60th
Anniversary
since 1964

Dokkyo Picks

獨協と未来の架け橋となる広報誌

2024 SUMMER

Vol.485

7月号

DOKKYOのDNA

情報科学教育編

みんなのカタリバ

今回のテーマ: 情報科学科目

学生記者が卒業生に聞く!

未来への羅針盤

CAMPUS NEWS

DOKKYO SDGs / ぶらりらいぶらり

RECOMMEND BOOKS

4つの履修モデル(アドバンスト)

①人工知能分野

【目的】AIの主なスキルである機械学習を理解し、そのプログラムを作成できること。

科目例) AI入門／情報システム論／自然言語処理 など

③プログラミング分野

【目的】プログラマーに必要な基礎知識と理論を理解できること。

科目例) プログラミング論／コンピュータアーキテクチャ／情報システム概論 など

②データサイエンス分野

【目的】データから必要な情報を取り出す知識を理解し、データを分析するプログラムを作成できること。

科目例) データサイエンス入門／データベース論／統計と調査法 など

④メディアデザイン分野

【目的】人を惹きつけるメディアデザインに必要な知識と理論を理解すること。

科目例) マルチメディア論／ウェブデザイン論 など

いると思われます。本学では、このような社会情勢を背景に、キャリアデザインやレベルに応じたＩＴスキルを得られるよう、全学共通カリキュラム(全カリ)や各学部にて従来からあった情報系科目をプログラム化しました。プログラム化にあたっては、これまで蓄積してきた情報教育の知見をもとに科目を抽出。データサイエンスや人工知能(AI)、プログラミング、メディアデザインなど50を超す科目で構成

した「情報科学教育プログラム」として、本年度よりスタートさせました。本プログラムを通して、社会や企業のニーズに合った人材を育成していきたいと考えています。

全学生を対象とした
横断型の情報科学教育プログラム

このプログラムの大きな特色はすべての学部生が履修できる点です。少人数での実習も多く、授業の中で他学部生の多様な意見や目標に触れて、刺激を受けたり視野を広げたりすることも考えられます。ワンキャンパスの本学ならではの強みです。

また、基礎的なパソコンソフトの使い方や人工知能の基礎理論、シンプルなプログラム作成スキルなどを学ぶ「リテラシー」、機械学習の深い知識や、データに含まれる特徴的なデータを探し出す知識を理解してデータを分析するプログラム作成スキルといった、より実践的な「アドバンスト」の2つのレベルを設定し、履修モデルを提示。学生たちは履修モデルを参考にしながら体系的に学び、必要な知識やスキルを効率よく身につけられる仕組みです。規定単位数を修得してプログラムを修了すると、申請により卒業時に「修了証」が授与されます。4年7学期以降、規定単位数を修得済であれば申請により「履修証明書」を発行することも可能です。(※)

専門分野×ＩＴで
新しい価値を生む人材として活躍を目指す

文系大学の本学で情報科学を学ぶことは、



将来のキャリアに大きなプラスになると考えています。例えば、経営学科の学生が全カリで韓国語を選び、本プログラムでメディアデザイン分野を学修することで、マーケティング×韓国語×Webデザインの力が身につく、韓国

1990年代後半の獨協大学コンピュータ教室

歴史を知って、未来を探る

歴史 × 未来

創立60周年特別企画

DOKKYOの
DNA

情報科学教育 編

2024年4月から

情報科学教育プログラムがスタート

進化しながら受け継がれる
獨協大学の情報科学教育

話していただいたのは…



教務部長
田中 善英 教授
外国語学部フランス語学科

本学には、設立以来、情報科学関連分野の研究を精力的に行ってきた歴史があります。一九六六年、経済学部経営学科の増設時に情報科学関連科目を設置すると、その後、各学科へと展開し、情報教育を積み上げてきました。一方、社会の動きに目を向けると、情報通信技術は一九九〇年から二〇〇〇年にかけて急速に発展し、情報化が一気に進行。これにより、企業での仕事の内容だけでなく、個人のライフスタイルや働き方も大きく変化していきましました。本学では、コンピュータやインターネット環境の整備を進めた時期です。

そして今や、産業界や生活において、ＩＴに関する知識と実践力は不可欠です。例えば、新入社員にパソコンソフトの使い方を二から教えてくれる企業がどれくらいあるでしょうか。多くの企業は、ある程度のＩＴスキルを身につけているという前提で学生採用を行って

語でECサイトをつくるWebデザイナーへの道が拓けることも。また、総合政策学科の学生が公務員になり地方活性化に取り組みるとき、データサイエンスの知識があれば、大量のデータを分析して効果的な方法をスピーディーに導き出せるかもしれません。フランス語でレポートを作成せよ、という課題が出たとき「え」をどうやってキーボードで打つか、フランス語でどのように情報収集を行うか、そんなことを情報科学系の科目で学ぶことができ、将来的に多言語で書類を作成することに長けた人材に成長することもできます。

語学が堪能であったり、プログラミングやデータ分析のスペシャリストであったりと、二つの分野に特化した人材は多いですが、複数の強みを持つ人材は非常に少ないのが現状です。各学科の専門分野と情報科学の学び、それに語学力が融合することで相乗効果が生まれ、新たな価値を創造する人材として、社会で発揮できる力が5倍、10倍へと膨らんでいくことでしょう。

本学はこのプログラム以外にも情報科学系の科目が充実しています。始めるのに遅すぎることはありません。1〜4年次の学年にかかわらずいつでも、興味を持ったときにぜひ履修してみてください。

(※)修了証及び履修証明証の授与は、二〇二四年度以降に入学した学生が対象。履修登録の際、「情報科学教育プログラム」への登録が必要となります。



語学と情報の
両方の知識があれば、
就職にも強いと思います。

国際教養学部
言語文化学科3年

履修のきっかけは？

「4月から情報科学教育プログラムが始まる」というポスターを学内で見かけたこと。情報系はなんとなく難しそうだったので、これまでまったく興味がありませんでした。でも、本学の情報科学科目なら、これからの時代に必要なスキルが身につくそうだったので履修を決めました。

今、履修している科目を教えてください！

「総合科学特殊研究(教養としてのデータサイエンス)」で、生成AIを使ったデータ分析の手法を学んでいます。企業の売り上げや1か月間の利用者数など実際のデータを、アプリケーションで読み解き、ほしい情報を抽出します。人間がやれば相当な時間がかかりますが、生成AIをうまく使うことで大幅に短縮できると知り、驚きました。実際の企業や、日本政府が発表しているデータを使うため、情報やデータを身近に感じるようになりました。将来は、学科で専門的に学んでいる英語を活かす道を考えていました。でも今、データサイエンスの授業が楽しいので、商社やコンサルタントなどの可能性も考えるようになっています。キャリアの選択肢が広がっています！



基礎からコツコツと
積み上げて
いきたいです！

外国語学部
フランス語学科1年

履修のきっかけは？

入学を機に購入したパソコンを早く使いこなせるようにになりたいと思い、ITスキルを身につけるために履修しています。高校でも3年間、情報処理系の授業を受けていましたが、大学でさらに実践的に学びたいと思いました。

今、履修している科目を教えてください！

「情報科学各論(情報処理演習)」「ヨーロッパ言語」を履修中です。内容は、ワード、エクセル、パワーポイントの使い方を基礎から学ぶもの。授業には先生とティーチングアシスタントが参加されています。実際にパソコンを使いながら講義を受け、分からないことはその場で質問できるので、着実にスキルアップしていると感じます。ワードを駆使してレイアウトを整える課題もあり、見た目がきれいなレポートの作成に役立っていますよ。フランス語学科なので、フランス語圏の地理や文化などをプレゼンする授業があるんです。日本語だけでなく、フランス語でワードやパワーポイントの資料を作成する方法も教わっているので、それを活かし、良いプレゼンをしたいです！



独学より教わったほうが
効率よく、高いレベルに
到達できます。

法学部
法律学科2年

履修のきっかけは？

ゲームを通じてプログラミングに興味を持ち、高校を卒業した頃から教材を買って自分で学び始めたのですが、難しく……。大学で学べればいいな、と思っていました。1年生から情報系の科目を履修しています。

今、履修している科目を教えてください！

1年生のときに「現代社会2(コンピュータ入門)」を履修し、今は「現代社会2(プログラミング入門)」「自然・環境・人間2(データ構造とアルゴリズム論)」を取っています。どちらも同じ先生が教えてくださっているのですが、授業で学んだことが社会でどのように活用できるかを話してくださるので、すごく面白いです。プログラミングの魅力は、改良版を設計する際の思考の過程。ここをこうするともっと良くなる、と考えるのが楽しいですね。法律学科なので、例えば犯罪事例や傾向などをデータ分析することもできるのかな、と考えています。将来は公認会計士を目指していて、会計ツールの開発などにもつながるといいですね。Webデザインやプログラミングをさらに学んで、Webサイトやオリジナルゲーム制作もやってみたいです。



数学が好きな人には
絶対オススメ！
論理的思考が強化
されます。

経済学部
経済学科1年

履修のきっかけは？

入学前の進路選択の段階で「情報科学教育プログラム」がスタートすることを知りました。もともと数学が好きで経済学科に進学したのですが、ITの知識やスキルを学べるのも大きな魅力で、獨協大学を選んだという経緯があります。

今、履修している科目を教えてください！

2科目履修していて、「コンピューターリテラシー」では、大学の学びに必要なパソコンスキルや知識を修得しています。「自然・環境・人間2(教養としてのデータサイエンス)」では、データサイエンスの学びが、企業などで物事を判断する際の根拠を導く、論理的思考につながることが分かりました。技術的なことだけでなく、ビジネスにおいて、感覚や勘に頼らず、論理的に考える大切さも学んでいます。経済学科はもともと情報系の科目も多いのですが、論理的な思考を強化できると思います。ビジネスや人生において、何かを選択する場面で必ず役立つと思うので、もっと磨いていきたいです。

対話を通してつなぐ



DOKKYO みんなの カトリバ

今回のテーマは “情報科学科目”

情報科学科目を履修している皆さんに聞きました

最近、生成AIやデータサイエンスといった言葉をあちこちで見聞きます。獨協大学でも2024年度から「情報科学教育プログラム」がスタート。「難しいの?」「どんな内容?」と思っている学生の皆さんに、履修生の声をお届けします。

自分のパソコンを
使いこなせるように
になりたい!

入学前から履修を
考えていました!

3年生から
履修し始めました!

Webサイトや
オリジナルゲームを
制作したい!



学生記者が
卒業生に聞く！

在学生 × 卒業生

羅針盤

Compass to the future
Vol. 36

英語×デジタルマーケティング

自分だけの存在価値を発揮して、

グローバルに活躍

ソフトバンク株式会社
デジタルマーケティング事業部
馬場 航さん
(経済学科 2018年度卒業)

大学卒業後、大手旅行会社に入社。コロナ禍の影響を受け、3年間の勤務後、大手IT企業に転職し、デジタルマーケティングの広告業務に従事する。英語力とデジタルマーケティングの経験やスキルが評価され、2024年よりソフトバンク株式会社へ。

通じた支援を実施することです。
今のマーケティングの主流は、顧客起点でお客様へのアプローチを考えること。そのため、世界中に分散し、サイロ化したデータを統合してどう分析するか、そしてそのデータを活用してどのようなマーケティング施策を行うのか、一気通貫したコンサルティング提案を行っています。

現在の仕事で大変な部分はなんでしょう
か。また、やりがいを教えてください。

海外のマーケティング企業との仕事では、コミュニケーションでの苦労が多いです。言葉や

文化の違いから、そもそも意思疎通のハードルが高いこともあるので、些細なやり取りでもメールを残すなど、正確なコミュニケーションを心がけています。
やりがいは、英語とデジタルマーケティングの両軸を仕事に活かせることです。英語が堪能な人や、デジタルマーケティングのスペシャリストは多くいらっしゃいますが、どちらもできるという人材はまだまだ少ないのが現状です。そこに私の価値が発揮できていると感じます。

仕事を行う上で、最も大事なものはどのようなスキルや力でしょうか。

先回りして考え、仕事を進めることではないでしょうか。世界情勢や為替の影響で、世界経済は大きく変動しています。日々、アンテナを立てて情報収集し、お客様が求める1歩先を想定して仕事を行うことが、同じ職場の先輩を見ていて必要だと感じます。

また、得意分野をいくつか持ち、それらをかけ合わせて自分なりの価値をつくるとさらに良いでしょう。獨協大学の学生の皆さんであれば、語学×専門分野の力が身につきますよね。2分野をかけた力を持つ人材は社会で貴重な存在です。今年度から始まった「情報科学教育プログラム」でITスキルを身につけるのも一手ですね。今後、ITは社会の根幹になるので、語学×専門分野×ITの力は即戦力として期待されると思います。

学生時代に力を入れて取り組んだことを教えてください。

サッカーです。サッカー部に所属し、今でも交流のある仲間たちと出会うことができました。また、プロ選手を目指して2年間ドイツにサッカー留学もしています。ゼロからドイツ語を学び、試合に出られないこと、コミュニケーションの難しさに直面するなど、苦しい出来事もたくさんありましたが、さまざまな国の人と出会い、視野が大きく広がった経験です。世界に軸足を置いて仕事をしたいという気持ちが芽生えた時期でもありました。

在学中にどんなことをやっておくと良いでしょうか。

学生時代にひとつでも何かに挑戦し、喜ばずや苦しい思いを経験することが大事なのではないでしょうか。私自身、サッカー留学での苦しかった経験があるから、仕事の壁を乗り越えられると感じています。
もし、学生時代に戻れるなら、真剣に英



各業界で、時代をリードする存在として活躍する卒業生の先輩に、学生記者がインタビュー。
今回は、IT技術やインターネットなどデジタルテクノロジーを駆使して製品やサービスの認知、拡販を図るデジタルマーケティングの馬場 航さんにお話を伺いました。

現在の企業を選んだ理由と、仕事内容について教えてください。

前職から携わるデジタルマーケティングの仕事で、グローバルなフィールドで行いたいと思いソフトバンクに転職しました。現在の主な仕事は、国内企業などのお客様がグローバル展開される際に、デジタルマーケティングを

語に取り組みたいです。自動翻訳機や生成AIの台頭で語学学修の意義が議論されることもあり、言葉は人間が使っている相手に届くツール。例えば、商談の場で翻訳機を使うよりも、自分の言葉で伝える方が格段に効果的だと感じます。獨協大学の強みは語学教育ですね。恵まれた学習環境を活用し、学生の皆さんもぜひ、力を入れてみてください。社会に出てから本当に役立つ実践的な武器が語学なのです。私は今、毎朝仕事前の2時間をオンライン英会話のレッスンにあて、英語の勉強をしています。学生の皆さんには、獨協大学だからできる、学生時代だからこそ飛び込める挑戦を期待しています。



経営学科3年 学生記者) 経営学科3年 学生記者) 経済学科2018年度卒業 馬場 航さん

AFTER TALK

取材を終えた学生記者より

取材を行って、挑戦することの大切さや仕事への向き合い方を学ぶことができました。また、今後社会の根幹になっていくITについて、学生のうちに知識をインプットする重要性を感じました。(経営学科3年)

私はこの取材を通して、語学とITの知識の大切さを実感しました。また、学生時代に力を入れたことや、仕事を選ぶ上での軸を聞くことができ、就活中の自分にとっては貴重な時間となりました。(経営学科3年)

本誌に載せきれなかった記事をnoteに掲載しています！ぜひご覧ください！

note



大学院説明会参加者募集

7月と11月に大学院説明会を研究科別に開催します。大学院進学に少しでも興味がある方、ぜひご参加ください(学年・学部不問)。

- 法学研究科 7月4日(木)、11月7日(木)
- 外国語学研究科 7月3日(水)、11月6日(水)
- 経済学研究科 7月2日(火)、11月5日(火)

開催時間:12:50~

開催方法:オンライン方式(Zoomミーティング利用)

※大学ホームページ「大学院説明会」案内ページよりお申込みください(要事前予約)。



夏季休業期間の窓口業務 【8月2日(金)~9月23日(月・祝)】

夏季休業期間中の学内施設の利用、店舗の営業および同窓会事務室の開室状況については、7月中旬に大学ホームページをご確認ください。

9月卒業式・学位記授与式

■日時:9月20日(金)10:00~(入場開始 9:30)

■場所:天野貞祐記念館 大講堂

※式典後の各卒業生への学位記授与は、学部別に別室にて行います。

※学部別の学位記授与終了後、祝賀会を学生食堂で行います。

※式典へはご家族及び保証人は2名まで出席が可能です。

※卒業生は、当日学生証をご持参ください。

詳細は改めてPorTaII及びホームページでご確認ください。

2024年度春学期「授業評価アンケート」 にご協力ください

期間:2024年7月8日(月)~7月31日(水)

対象:全学生

回答方法:PorTaII(履修タブ)で回答(履修している全科目について回答ください)

所要時間:約30分

問合せ先:自己点検・評価室(6棟1階)

TEL:048-946-1824

E-mail:jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

詳細は、PorTaII→「ダウンロードセンター」→「学生用フォルダ」→「授業評価(教育改善)アンケート」の資料をご確認ください。

訃報

生前のご功績を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

中島 悠爾(なかじま ゆうじ)
名誉教授

2024年5月15日 老衰のため死去、93歳

1990年 教授

1995年 ドイツ語学科長

1997年 外国語学研究科委員長

1998年 外国語学部長

2001年 名誉教授

2025年度博士前期課程入試日程

入試種別	出願期間 (郵送・消印有効)	試験日	合格発表日
I期 (一般・学内推薦・社会人)	8月26日(月)~9月4日(水)	9月28日(土)	10月3日(木)
II期 (一般・学内推薦・社会人)、 特別	2025年 1月7日(火)~1月15日(水)	2月11日(火・祝)	2月14日(金)

問合せ先:大学院事務室事務課(4棟1階)

TEL:048-946-1666 E-mail:daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp

学費 「Web口座振替受付サービス」 のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を「銀行振込」から「口座振替」に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご利用ください。



【Web口座振替受付サービスの概要】

(Web口座振替受付)

★ Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)

★ 口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日

★ 8月20日までにお手続きいただければ秋学期の学費から口座振替となります。

★ 手数料は大学負担です。

高等教育の修学支援新制度にお申し込みの方は、口座振替をご利用いただけません。

獨協大学及び 獨協学園の財政開示について

獨協大学及び獨協学園全体の財政状況は、7月中旬に大学ホームページで開示します。

こちらをご覧ください。

URL <https://www.dokkyo.ac.jp/about/finance/>



2023年度教育環境改善のための 取り組みについて

獨協大学では、2022年度の「学生による教育環境改善のためのアンケート」の結果を受け、下記のような取り組みを実施いたしました。

【2023年度教育環境改善の取り組み】

■授業関連施設等

・空調機の一部更新

・ICZの備品点検

■学生生活施設等

・学生食堂、スタイルカフェ、キッチンカー

についての改善対応

・キャリアセンター施設の充実

・給水機の追加導入

■窓口サービス等

・国際交流センター窓口対応改善

・図書館サービスの向上

■履修登録等

・履修登録サービスの向上

詳細につきましてはこちらをご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>



梶山皓名誉教授が瑞宝中綬章受章

令和6年春の叙勲で、獨協大学元学長の梶山皓名誉教授が、瑞宝中綬章を受章された。5月13日には、勲章伝達式(ホテルニューオータニ東京)、拝謁(皇居)が行われ、梶山先生も出席された。

梶山先生の専門は、広告とマーケティングで、教育・研究両分野での活躍が高く評価されている。本学においては、2004年から2012年まで第9代学長を務め、新学部・学科の設置、天野貞祐記念館建設をはじめとするキャンパス再編計画の実行など、数々の大学改革に取り組まれた。

2024年度環境共生研究所シンポジウムを開催

環境共生研究所は6月1日に、2024年度環境共生研究所シンポジウム「武蔵野の落ち葉堆肥農法から考える食と農と環境」を行った。コロナ禍により前年から6年ぶりの開催となった今回のシンポジウムでは、基調講演に犬井正獨協大学名誉教授、パネルディスカッションにおおたかの森トラスト代表の足立圭子氏、獨協大学卒業生で石坂産業株式会社の高継エミリー氏、埼玉県生態系保護協会統括主任研究員の城戸基秀氏、オーガニックファーム所沢農人代表の川瀬悟氏をお呼びした。シンポジウムでは、2023年に世界農業遺産に登録された落ち葉堆肥農法をもとに、環境・社会・経済の持続可能性の実現に向けて循環型農業に期待される役割について登壇者の取り組みを踏まえて議論した。



産官学5者によるまちづくり連携協定を締結及び 連携協定締結記念イベント 「獨協大学前(草加松原)WELL FES」を開催

5月9日、草加市、独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部(UR都市機構)、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社、獨協大学の5者は、埼玉県草加市の獨協大学前(草加松原)駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する協定を締結した。

草加市立松原児童青少年交流センター「ミラトン」において、山川百合子草加市長、前沢浩子本学学長をはじめ、各者の代表者が出席し、5者連携協定締結式を実施。

前沢浩子学長は式典で、「今、日本の社会も大きな転機を迎えています。成長一辺倒だった時代を経て、私たちは成長から成熟への発想の転換を図らねばなりません。自然環境と人間の生活が調和し、人々が支え合って、心豊かな日々を送り続けられる、そのような持続可能な社会こそ「成熟」した社会と言えます。成長から成熟へ、その希望を私たち5者は共有しています。21世紀の草加松原の地が、また再び、そ

のような成熟した社会の新しいモデルとなるよう、獨協大学は皆さまと手を携えて力を尽くしていく所存です」と挨拶を述べた。

プロジェクト発表会後に各者由来のキャラクターたちも参加し、テープカットセレモニーを開催した後、5者の関連施設を見学するプロジェクト施設紹介ツアーが行われた。

5月11日には、近隣住民や一般の方々を対象とした5者によるまちづくり連携協定締結記念イベント、「獨協大学前(草加松原)WELL FES」を開催。ふれあい移動動物園、マルシェ、スマートモビリティ試乗体験など、まちを楽しむ様々な企画が催され、たくさんの方にご来場いただいた。本学では、獨協大学コミュニティスクエアの見学会、学友会団体によるパフォーマンス(YERBA BUENA/フラメンコ・Overlap/アカベラ)、学生によるポスター展示、フードロスに関する資料配付、大学紹介動画上映などを行った。



第51回創造祭開催

5月29日から6月1日の4日間、第51回創造祭が「光彩奪目」をテーマに掲げ開催された。創造祭とは、文化会団体を中心に、展示発表、演奏会やステージ発表などを行う大学祭。

開会式では、冒頭に前沢学友会会長(学長)から祝辞があり、続く実行委員長の開会宣言、その後に書道研究会が書道パフォーマンスを披露。開催期間中には、小講堂、雄飛ホール、土曜日には獨協大学コミュニティスクエアを使用し、多くのイベントが行われた。

詳しくはnoteをご覧ください。



本学の先生方が
執筆された新刊情報をお届け！

RECOMMEND BOOKS

2024 SUMMER

※価格は税別

03

松本 健太郎 (英語学科教授) 共編著、
鈴木 涼太郎 (交流文化学科教授) 分担執筆
『メディア・リミックス
デジタル文化の(いま)を
解きほぐす』

ミネルヴァ書房 2023年11月 2800円

デジタル技術が飛躍的に進歩した90年代以降に
生じた大きな変動を一つの項目とみなし、デジタル
文化をめぐっての(ビフォー)と(アフター)のコント
ラストに着目。いま私たちの目前で起きているデジ
タル文化の変容を立体的に浮かび上がらせてます。

07

白川 貴子 (交流文化学
科非常勤講師) 訳
(ハビエル・セルカス
著)
『テラ・アルタの憎悪』

早川書房 2024年1月 2300円

獄中でユゴーの「レ・ミゼラブル」と出会い、犯罪
をやめ警察官となったメルチョールは、カタルー
ニャ州郊外の町テラ・アルタで、富豪夫妻殺人
事件の捜査に当たる。正義と悪とは何かという
根源的な問いを突き付ける、スペイン・ミステリ
の傑作。

11

岡田 順太 (法律学科教
授) 分担執筆
『プレステップ憲法 [第4
版]』

弘文堂 2024年2月 2000円

新型コロナ対策、LGBTQと
人権、表現の自由など、身近なニュースと憲法
の関わりが理解できるゼミナール編をはじめ、時
事的な話題から斬り込んだ解説が好評なシ
リーズ最新版。気鋭の憲法学者たちがユーモ
アとスパイスの効いた筆致で憲法の現状と課
題を整理した不動の決定版テキスト。

15

松本 健太郎 (英語学科
教授) 共編著
『日中韓のゲーム文化論
なぜ、いま(東アジア・ゲ
ーム批評)なのか』

新曜社 2024年3月 4500円

いまや世界中が「ゲーム化」している。しかしその
思想的意味はどこにあるのか。欧米を追い越し
先頭に立った日本、それに迫ろうとしている中
国・韓国。ゲーム文化。三国の優れた批評のな
かに独自性を探りつつ、東アジアのゲーム文化
を展望する論集。

04

井上 周平 (ドイツ語学
科非常勤講師) 分担執筆
『公衆衛生と感染症を歴
史的に考える』

山川出版社 2023年12月 1800円

歴史上度々登場する疫病の
流行した時代に、ヨーロッパのみならず、アジア
でも人々はどういった向き合い方をしてきたの
か、また、感染者数など、その数量を把握するとい
うことはどういうことか、といった様々な疑問を
紐解いていきます。

08

井上 靖代 (経営学科教
授) 分担執筆
『図書館情報資源概論
JLA図書館情報学テキスト
シリーズⅢ 8』

日本図書館協会 2024年1月 1900円

公立図書館の在り方を今日の視点で再検討、再評
価しながら、印刷メディア、非印刷メディア、ネットワ
ーク情報資源の種類や特質、利用、取扱いに関わる図
書館業務の基礎的知識を解説し、動向と課題を考
察、省令科目「図書館情報資源概論」、「図書館情報
資源特論」の学習用テキストとしてお助めの一冊。

12

藤田 貴宏 (法律学科教
授) 分担執筆
『キーコンセプト法学史
ローマ法・学議法から西
洋法制史を拓く』

ミネルヴァ書房 2024年2月 3500円

「所有」「離婚」など誰でも知っている用語から、
一般にはあまり使わないが法学の基本用語であ
る「錯誤」「占有」「取得時効」まで、法学史・法
制史的視点から掘り下げたコンセプト集。法学
や隣接領域を学ぶ上で欠かせない基本概念を
集め、西洋法制史の基本を網羅した一冊。

16

森永 卓郎 (経済学科教
授) 著
『書いてはいけない
—日本経済墜落の真相—』

三五館シンシャ 2024年3月 1500円

「ジャーニズの性加害」「財務
省のカルト的財政緊縮主義」「日本航空123便
の墜落事件」。四半世紀に及ぶメディア活動で
見聞きしてきた「3つのタブー」に挑み、その背景
に存在する真相を描き出します。

01

松本 健太郎
(英語学科教授)
分担執筆
『図書館情報学事典』

丸善出版 2023年7月 20000円

図書館の歴史や基礎論、メ
ディア論はもとより、情報へのアプローチ方法
や組織化の技術まで、最新の研究知見をもと
に執筆。デジタルトランスフォーメーション(DX)
社会を見据え、従来の紙のメディアや図書館と、
情報や知のシステムとの連続性をわかりやす
く解説。

05

北野 収 (交流文化学科
教授) 著
『私の中の少年を探しに
ある「農学者」が回想する
昭和平成』

デザインエッグ 2024年1月 2772円

平凡な人間の平凡な日々の中にも、少し角度を
変えてみると、映画や小説の一場面のようにキラ
リと輝く一瞬があります。それが誰の人生であ
っても人生は詩であり、物語なのです。元官僚
で今は国際開発を専攻する大学教師で、自称
「国際農学者」という筆者の「少年」探しの旅を
共同体験する一冊。

09

安原 陽平 (法律学科准
教授) 分担執筆
『教職課程のための憲法
入門 (第3版)』

弘文堂 2024年1月 2200円

教職課程の必修科目である
憲法。本書は、法学を専門としない教職志望者
が、子どもたちや教育実践と関連づけて憲法を
やさしく学べるように、校則、給食、生徒会選挙
といった学校の日常にある事例をベースにしつ
つ、さらに専門用語をわかりやすく言い換えるな
ど、さまざまな工夫を重ねています。

13

藤田 貴宏 (法律学科教
授) 分担執筆
『社会の多様化と私法の
展開 —小野秀誠先生古
稀記念論文集』

法律文化社 2024年2月 12000円

民法が対峙する現代社会の多様な課題に、私
法学はどのように取り組み、未来への道筋を示
すべいか。「社会のグローバル化と法」「取引の
多様化と法」「現代社会と法」「法の歴史的展
開」の4部構成、29論考を収録。

17

上村 敏郎 (ドイツ語学
科教授) 分担執筆
『ハプスブルク家の歴史を
知るための60章』

明石書店 2024年4月 2000円

12世紀から第1次世界大戦
が終結する1918年まで、約800年間にわたっ
て君主国家を継承してきたハプスブルク家。そ
の名が国名にもなっていた唯一無二の王家に
焦点を当てると、西洋史上の出来事のつながり
が可視化され、その本当の意味がみえてきます。

02

松本 健太郎 (英語学科教
授)・山口 誠 (交流文化学
科教授) 共編著、
鈴木 涼太郎 (交流文化学
科教授)・須永 和博 (交流
文化学科教授) 分担執筆
『観光が世界をつくる』

明石書店 2023年7月 2600円

観光が創り上げる独特の「世界＝リアリティ」につ
いて書かれた論考集。映画・小説・まんが・世相等、15
の章から現代における観光の事例を考えることで、観
光社会学の新たな地平を切り拓くことを試みます。

06

玉井 昇 (交流文化学科教
授) 分担執筆
『海の法文化と陸の法文化』

国際書院 2024年1月 3600円

陸の法文化とは異なる海の
法文化は存在するのか。海洋
における文化財保護法と水中文化遺産の保護
などについて論じるほか、海洋管理における地
域伝統と西洋法観念との相克、国際的海洋管
理上の問題をとりあげます。

10

古畑 侑亮 (言語文化学
科特任講師) 著
『コレクションと歴史意識
十九世紀日本のメディア
受容と「好古家」のまなざし』

勉誠社 2024年2月 10000円

幕末・明治という転換の時代を生きた一人の村
医者に視座を置き、彼が遺した書簡や紀行文、
編纂物を手がかりとしてそのコレクションを紐解
く。大学という制度や学知が確立する以前の在
野における歴史研究の実相とアカデミズムへの
継承を描き出す画期的著作。

14

松本 健太郎 (英語学科
教授) 共編著
『都市と文化のメディア論』

ナカニシヤ出版 2024年3月 2600円

都市文化に関わる近現代
的な事象に多様な角度から迫
り、情報化の進展にともない、基本的な単位や
輪郭が再編されつつある都市を捉える一冊。

18

高安 健一 (経済学科教
授) 共編著
『大学生のための世界の
課題発見講座』

日本能率協会 2024年4月 2200円

本学で2021年度に開講した
全学総合講座「新聞記者と学ぶ現代経済：
SDGs未来講座」の授業を、初年次教育用の
テキストとして編集しました。取材のプロである日
本経済新聞社の記者が、SDGsを切り口に課
題発見技法を解説します。

DOKKYO
SDGs
Sustainable Development GoalsEarth Week Dokkyo
学生と教職員が一丸となって
地球課題に挑む環境週間

6月24日～29日の1週間、獨協大学環境週間「Earth Week Dokkyo 2024～Summer～」が開催されました。皆さんはイベントに参加しましたか？

Earth Week Dokkyoでは、冷暖房の使用により電力需要が高まる6月と12月に、「地球のことを考える1週間」を設定し、学生、教員、職員の意識を高めて、持続可能な地球社会の実現を目指すためのイベントを実施しています。

今回は、「草加の野菜を食べよう!〜ピザ窯で作るピッツァ〜」やフェアトレードコーヒーの配布、公開省エネ推進会議や全学ライトダウン・キャンペーンなどが実施されました。全学部の学生で構成されている実行委員会がイベント参加団体を募集し、運営しています。実行委員会は随時、メンバー募集中です!一緒に、持続可能なキャンパスライフの実現を目指しませんか。



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.111

レポート作成にも図書館を活用しよう!

学期末に近づき、そろそろレポートの課題が出される頃ですね。「初めてレポートを書く!」という方にとっては、分からないことも多いと思います。まずは、レポートを書く際のステップとポイントを確認しておきましょう。

STEP 01 テーマを決める

何について論じるのか、出題されたテーマを確認します。

STEP 02 事前調査

テーマの基本概念や背景を把握しましょう。入門書を読むのもおすすめです。

役立つデータベース

JapanKnowledge Lib

様々な分野の辞書や百科事典を
一度に検索できます!

STEP 03 構成を考える

事前調査が済んだら、レポートの構成を考えま
す。序論・本論・結論を意識すると良いでしょう。

STEP 04 文献の調査・入手・読解

構成が決まったら、集めたキーワードなどを使っ
て、主張を裏付ける根拠資料を探します。

本や論文、
データベースなどを
使って、信頼性の
高い情報を
集めよう!

STEP 05 本文の執筆

構成に沿って、調べた資料やデータを用いなが
ら、自分の意見を書いていきましょう。

他人の意見の
「引用」をする際は、
出典を明記するなどの
ルールを守ろう!

もし迷ったり、困ったりしたら……
レファレンスカウンターに相談!



カウンターは1階と2階にあります

納得のいくレポートが書けた!

レポートの書き方を
動画でも配信中!
PorTaIIの
「ダウンロードセンター」に
掲載しています。



NEWS
学生サポート



グランドピアノ設置

5月11日、E棟311教室にグランドピアノが設置された。このグランドピアノの設置にあたっては、ドイツ語学科の木村佐千子教授が使用していたものを大学に寄贈していただいた。寄贈にあたり、木村教授からは「授業だけでなく学友会活動、教職員の親睦活動などにも広く使っていただきたい。また、いまでは貴重な象牙の鍵盤が使用されており、演奏する方にはその弾き心地を感じていただきたい」というメッセージがあった。

証明書自動発行機が新しくなりました

東棟と学生センターに設置している証明書自動発行機(3台)が新しい機種と入れ替わりしました。新しい機種では、現金決済のほかに電子決済(交通系とPayPayのみ)が利用できるようになりました。証明書や学割証の発行、講座受講料の納付などの際にご利用ください。



NEWS
学生サポート

X (旧Twitter)
獨協大学
図書館



COVER STORY



【表紙の人】

7月号の表紙を飾ってくれたのは経済学科4年の[]さん。体育会アーチェリー部として活動しながら週4回ボディービルのためのトレーニングに励んでいます。

また、学友会文化会委員長を2年間務め傘下の約30団体の統括や取りまとめ、連絡、調整を担いつつ、文化会の各団体と地域のつながりを生むイベント企画等にも積極的に取り組みました。CLEASで開催している講習会に参加してイラストレーターの使い方を学び、創造祭の広報担当としてパンフレットのデザインにも携わりました。

本学オリジナルアパレル誕生！ ECサイト【DOKKYO】MARKETにて販売中

4月26日より、創立60周年記念企画として開発した本学オリジナルアパレル商品の販売を、ECサイト「【DOKKYO】MARKET」にて開始しました。この企画は、還暦にあたる60年を機に本学のイメージを刷新するとともに、関係者の愛校心の育成を目的とするもので、商品開発は学生と教職員のプロジェクトにより実施しました。商品はTシャツ、パーカー、キャップ等のアパレルとペンやウォーターボトル等の雑貨を含め16種類の幅広いラインナップが揃いました。今後はシーズン毎に商品の入れ替えを行う予定です。皆さんも獨協ブランドのアパレルを身に着けて、街に繰り出そう！



<https://collegemarket.jp/collections/dokkyo>



予告！

第60回雄飛祭が開催されます。

【開催日】11月1日(金)・2日(土)

今年のテーマは“つなぐ”。

主なイベントは、学生による演技演奏等の発表、学生による模擬店での飲食物販売、ゼミによる研究発表、緑日、ホラーハウス、Dokkyoマーケット(フリーマーケット)、雄飛祭の歴史、音楽ライブなど盛りだくさん。ぜひ誘い合わせてお越しください。

獨協大学学生サポート寄付金募集協力をお願い

本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、学友会活動、自学習など、学生の活動全般を広く永続的に支援することを主眼としています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
※クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、インターネットバンキング(Pay-easy)、銀行振込等をご利用いただけます。
詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/donation/>



※法人の方は直接お問合せください。

所管 獨協大学総合企画課
TEL.048-946-1635

編集 総合企画課(中央棟2階) TEL.048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者 大久保 賢斗(営3年) 岡田 陽依(英4年) 片柳 月奈(言3年)
【五十音順】 金田 夏実(律3年) 川合くるみ(営1年) 黒木 健登(律3年)
齋藤 史空(英4年) 佐々木那智(仏1年) 島田 瑞里香(済3年)
庄司 光希(総4年) 土田 優衣(営3年) 土屋 日花莉(律3年)
原 友里恵(英4年) 柳澤 真理子(営3年) 渡邊 帆風(営3年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語/英…英語/仏…フランス語/交…交流文化/言…言語文化/
済…経済/営…経営/環…国際環境経済/律…法律/関…国際関係法/総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>

次回は11月号(10月30日発行予定)です